

わかりやすく伝える原子力用語

Easy to understand communication tool of nuclear power words

*大磯眞一

(株)原子力安全システム研究所

福島第一原子力発電所事故以降、原子力発電についてわかりやすく説明して人々の理解を深めてもらう必要性が高まっている。このため、原子力用語について誤解やむずかしさを避けるための解説を行い、人々の理解に役立ててもらおうための原子力用語解説集を作成した。

キーワード：福島第一原子力発電所事故、原子力用語、安全対策、高経年化、言い換え

1. 緒言

原子力発電所の安全対策や高経年化等の用語に、福島第一原子力発電所事故に関する用語を追加して、検討用語を選定した。選定した用語についてわかりやすさを重視した解説を行った。一部用語については言い換えも試みた。

2. 結果・考察

(1) 用語解説集の想定利用者

原子力に関する知識があつて原子力発電について説明する立場の人、具体的には電力事業者や原子力発電関連機関の広報担当者などを想定した。

(2) 他の用語解説との違い

グループインタビューにより、説明を受ける人の用語理解や誤解に関する問題点および留意点をおさえながら、原子力安全システム研究所の社会システム研究所を中心に、日本原子力研究開発機構の広報実務者や、心理学と言語学の専門家が参加してまとめた。また、原子力安全システム研究所の技術システム研究所の協力を得た。

(3) 検討用語の選定

原子力安全システム研究所の所員へのヒアリング調査などで選定した 55 語に、福島第一原子力発電所事故以降、重要度が増した 12 語を加えて 67 語を選定した。選定した用語については、原子力の基礎、安全対策、高経年化、原子燃料サイクル、廃棄物、防災、セキュリティの 7 つの重点分野から、選定に漏れがないかどうかをチェックした。

(4) 用語解説の項目

「簡単に」「詳しく」「角度を変えて」の 3 段階で解説を行った。「簡単に」は、一文ほどの簡潔な解説である。「詳しく」は、より詳しい一段落から二段落ほどの文章による解説である。「角度を変えて」は、幅広い知識を得られるよう、関連知識も説明したものである。

さらに、原子力発電について説明する際の利便性を考え、「誤解に注意」「わかりやすく伝えるポイント」「複合語」「関連語」を記載した。また、「図解のポイント」を作成し、「参考文献」もつけた。

(5) わかりやすい言い換えの試み

絞り込んだ 67 語を対象として言い換えが可能かどうか検討を行い、学術用語や完全に定着している用語、言い換え不可能な用語などを除く消去法で選定した。また、用語以外に、不適切な用語表現についても言い換えを検討した。用語の言い換え例としては、「保障措置」を「核転用防止措置」と言い換えた。不適切な用語表現の言い換え例としては、ガラス固化体について、「ガラスに閉じ込める」という表現を「ガラスに混ぜ込む」と言い換えた。

3. 今後の課題

時間の経過とともに解説が変化する一部用語については、引き続き最新内容へと修正を続けていく必要がある。

*Shinichi Oiso

Institute of Nuclear Safety System, Incorporated